



vol.27
平成30年1月1日

地域の輪



木太町
イメージキャラクター
あまからキタロウ

発行: 高松市木太地区コミュニティ協議会
〒760-0080 高松市木太町3480-2 TEL&FAX 087-834-5547

あまから通信

皆さまおすこやかに新春を
お迎えのことと存じます。
輝かしき新春を迎え、
皆さまのご健康とご繁栄を
心からお祈り申し上げます。
本年も何とぞよろしく
お願い申し上げます。



新年を迎えて

木太地区コミュニティ協議会より新年のお慶びを申し上げます。皆さまには、新たな希望と期待に満ちた新春をお迎えのことと拝察申し上げます。

今年の干支は戌です。『申酉(さとり)騒ぐ、戌(いぬ)笑い』という言葉があるそうですが、皆さま方にとりましても木太地区にとりましても笑いの多い楽しい一年になります様、衷心より願ってやみません。

昨年中は、当コミュニティ協議会も地区住民の方々をはじめ、各種団体等多くの皆さまのご理解とご協力を賜り、各種行事に

木太地区コミュニティ協議会 会長 綾野 和男

つきまして、多大なるご支援とご協力をいただきましたことに対し厚くお礼を申し上げます。

さて、平成30年は地域の皆さまが待ち望んでいました木太コミュニティセンターも、本年1月15日に起工式を行い、今年度内には竣工の予定となっています。そして新消防屯所や夷公園(仮称)も北隣に整備される事となっています。

どうか住民の皆さまには災害に強く、安全で安心に暮らせる明るいまちづくりの実現に向けて、さらなるご指導をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

特集 木太町大規模災害への備え... 2~3

あまからTopics

第35回木太地区文化祭 ... 4

第16回木太地区音楽フェスティバル

◎八坂神社秋の大祭 ... 5

◎保健委員会健康ウォーキング

◎木太町の達人 ... 6

◎木太町地名豆知識

◎飛び出せ!スポーツ少年団 ... 7

◎町民のつづやき

◎マイお弁当のススメ ... 8

特集

木太町大規模災害への備え

南海トラフ巨大地震は東海から九州にかけての太平洋側のプレートが動いて引き起こされる巨大地震です。マグニチュード8～9、最大震度6強クラスの地震が、今後30年以内に70%、50年以内に90%の確率で発生するとされています。今回の特集では、現在木太町で防災活動に携わっている団体に、今後の木太町の地域防災についてお話をうかがいました。



各地区、各自主防災組織単位での防災訓練の実施を

ハザードマップを見て感じることは、『木太町の防災対策』を全体一括りにして考えることは難しいということです。木太町は南北に細長く、地区によって町並みや周辺を取りまく環境も違います。自主防災会では、毎年町全体の防災訓練を実施していますが、これは総括的な訓練としての側面が強く、なかなか地区の実状に合っていないという課題があります。

阪神淡路大震災以後、木太町では木太地区防災マップの作製や地域調査、自主防災組織カバー率100%へ向けた活動等、様々な取り組みを実施してきましたが、このような全体的な活動と並行して各地区、各自主防災組織単位での防災訓練を実施する必要があります。既にいくつかの地区では独自の防災訓練や避難訓練、要援護者への安否確認等を行っています。最終的にすべての地区においてそれぞれ実状にあった訓練を実施することができるような体制づくりをしていきたいと考えています。

発災後3日間は自分たちで生き残るための準備を

木太分団では、大規模災害が発生した場合、本部の指示に従い町内にある1～3部の屯所それぞれが災害出動に赴きます。一般的な火災と違い、震災での被害・救助要請は同時多発的に発生し、そのすべてに対して消防団のみが適時

地域コミュニティ別ハザードマップ

想定：県公表の南海トラフ地震（最大クラス）が発生した場合に想定される津波の浸水域・浸水深を掲載



高松市公式ホームページもつと高松「木太地区コミュニティ別ハザードマップ」より
http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/takamatsubosai/takamatsu_city/kita.html

適切に対処することは現実的ではありません。

しかし、発災後の初動期における活動が、その後の被害軽減に繋がるため、限られた消防力を効果的に活用することが重要と考えています。

具体的な取り組みとして、平時より各消防団員の持っている防災

知識を積極的に地域住民に普及することで地域の防災を担う人材を育成し、防災意識の啓発に取り組んでいます。

最後に、行政が実施する救助活動や各インフラの回復、いわゆる“公助”については、効力が発揮し始めるまでに3～5日程度はかかります。そのため住民の皆様には「最低



普段から隣近所との“絆”を作っておくことが大事

住民が隣近所を知っているかそうでないかで発災時の避難初動が大きく変わってきます。（熊本での震災より）

そういった意味では、災害が起きる前にいかにお互いの絆を作っておく準備できるかが多くの被害者を出さないために必要なことだと考えます。

自治会活動は防災に限らず多くの行事があり、そのたびに地域内での交流が行われている。折に触れ、それらの行事に防災や避難要素を取り入れ、啓発活動を行いたい。

また現在の課題として、同じ町内に住んでいても、場所によって地域防災に対する意識に隔りがある点について（南の方は高いので安心など）、ハザードマップはあくまで“想定”であり、いままでの震災で何度も“想定外”が発生している以上、常日頃から防災意識を高めていきたいと考えています。



3日分の非常食」を常備し、災害に備えてほしいと思います。

地区防災組織の活動

風水害への対応

地域の自主防災組織は、大規模災害に備えるだけでなく台風等の風水害の際にも活動しています。

平成27年9月17日の台風18号上陸の際には、台風が接近する前の早い段階から地区自治会・消防団木太分団と連携し、河川周辺を中心に町内の見回りを行いました。

また、避難所となる各小学校、コミュニティセンターの備品の確認や避難住民への声かけ、水害用土のうの作製や設置を行い、台風による被害を未然に防ぐ役割を担っています。



自主防災会会員による見回り



台風接近を前に地域内の要注意場所の確認



主要河川の水位を確認します



必要があれば地区の水門管理者へ

地区独自の防災避難訓練

夷地区

11月25日特別養護老人ホーム法寿苑において、香川県シェイクアウトに合わせたプラスワン訓練が実施されました。夜間に南海トラフ地震が発生したと想定された訓練では、夷地区住民約50名余りが避難所までの危険箇所や避難経路を確認し、避難所内での車いすを使用した連携を確認しました。夷地区の榎原自治会長は、「夷地区では以前より法寿苑に災害用の米を備蓄する等、地区独自で防災活動を実施している。これからもいろいろな団体・企業を交えて実践的な訓練を行いたい」と語っていました。



かがわ自主ぼう連絡協議会からの炊き出し訓練も実施されました



近隣の住民約50名余りが避難しました



災害時における車いすサポートについての講習



車いす&リヤカーを整備

宝くじの社会貢献広報事業で地域防災力の向上を

平成29年10月14日、木太地区自主防災連合会は、コミュニティ活動に必要な備品等への助成を行うコミュニティ助成事業（地域防災組織育成助成事業）を活用し、車いす3台、防災用折りたたみリヤカー13台を整備しました。

これらの防災資機材は各コミュニティセンターに配備され、災害の発生時や、平時の防災訓練等に活用されます。



阿部歯科

高松国際ホテル東1km

マルナカ春日店西150m

木太町6区 TEL 834-5314

夢・いやし・やすらぎ

特別養護老人ホーム

法寿苑

高松市木太町3308 電話(087)832-5500

【広告を募集しています】 ●木太地区1万世帯に配布いたします ●地元に着した広告が可能です ●サイズ:横85mm×縦50mm ●広告料:1枠10,000円 ●お問い合わせは、木太地区コミュニティ協議会まで

第35回 木太地区文化祭

2017年11月4日(土)5日(日)開催

第35回文化祭が11月4日(土)5日(日)と二日間にわたり、木太小学校体育館で開催されました。今年は木太コミュニティセンターの建替えのため、演芸・カラオケと作品展示会場を一つの会場にまとめた開催でした。

会場を一つにしたことで、作品展示を見に来た方も、賑やかな演芸会場に足を運んだり、その逆にカラオケを見た後作品展示を眺めて帰る方など、今までにない来場者の流れができており、来場された皆さんが文化祭を余すところなく楽しめているように感じました。開催にあたり準備後片付けをお手伝いくださった地域ボランティアの皆さんありがとうございました。次回も皆さんが楽しんでもらえるような文化祭にしたいと思います。(上枝 秀則)



たくさんのご来場ありがとうございました



目指せ大漁! 釣りっこ遊び



野菜の重さ当てゲーム



地区音楽フェスティバル

第16回 木太地区音楽フェスティバル

2017年12月2日(土)開催

16回目を迎える音楽フェスティバルは、音楽を楽しむ人が、日ごろの成果を発表する場として毎年開催されており、今年は例年よりも多い700名を超える観客の中、盛大に行われました。

今回は地区内より全11団体が出演し、趣向を凝らした演奏・演技で、会場を盛り上げてくれました。この音楽祭が、木太町の師走の風物詩となるよう、今後も継続して開催したいと考えておりますので、何とぞご協力をよろしくお願いいたします。(上枝 秀則)



息ピッタリ 決まっていますネ!



一生懸命で...ほほえましい



木太地区音楽フェスティバル



木太地区音楽フェスティバル

第35回 木太地区文化祭

2017年11月4日(土)5日(日)開催

第35回文化祭が11月4日(土)5日(日)と二日間にわたり、木太小学校体育館で開催されました。今年は木太コミュニティセンターの建替えのため、演芸・カラオケと作品展示会場を一つの会場にまとめた開催でした。

会場を一つにしたことで、作品展示を見に来た方も、賑やかな演芸会場に足を運んだり、その逆にカラオケを見た後作品展示を眺めて帰る方など、今までにない来場者の流れができており、来場された皆さんが文化祭を余すところなく楽しめているように感じました。開催にあたり準備後片付けをお手伝いくださった地域ボランティアの皆さんありがとうございました。次回も皆さんが楽しんでもらえるような文化祭にしたいと思います。(上枝 秀則)



たくさんのご来場ありがとうございました



目指せ大漁! 釣りっこ遊び



野菜の重さ当てゲーム



地区音楽フェスティバル

第16回 木太地区音楽フェスティバル

2017年12月2日(土)開催

16回目を迎える音楽フェスティバルは、音楽を楽しむ人が、日ごろの成果を発表する場として毎年開催されており、今年は例年よりも多い700名を超える観客の中、盛大に行われました。

今回は地区内より全11団体が出演し、趣向を凝らした演奏・演技で、会場を盛り上げてくれました。この音楽祭が、木太町の師走の風物詩となるよう、今後も継続して開催したいと考えておりますので、何とぞご協力をよろしくお願いいたします。(上枝 秀則)



息ピッタリ 決まっていますネ!



一生懸命で...ほほえましい



木太地区音楽フェスティバル

木太町の達人

ご近所の
あの人(?)は
実はココが
スゴイんです

紙粘土細工の達人

高須地区 川村 真利子さん



「誰でも楽しくできる」が信条です



自宅は作品でどこもいっぱい



今回ご紹介する達人は、コミュニティセンター講座の講師やあまから通信新年号の表紙も飾っていただいている紙粘土細工の川村真利子さんをご紹介します。

取材に訪れたご自宅兼アトリエにはそこかしこに達人の創った作品が飾ってありましたが、特に目を引いたのがたくさんのお人形。人形に着せる服もご自分で製作されているそうで、達人曰く子どものころから手芸や粘土遊びが大好きで、それが自然と今の形になったとか。

現在も続いているご自身の紙粘土教室は20代の頃にご近所さんが集まってできたもので、今年で36周年。数年ごとにみんなが作品を持ち寄って自宅で展覧会を開いていますが、3日で200人以上の愛好家が訪れるほどの人気ぶりです。

『生涯現役。体が動く限り、続けていきたいね。』

ずっと続けている達人ですが、ものづくりを通じた人との関わりも大切にされる姿勢が素敵でした。(大熊編集)

木太町地名豆知識

地名が語る声に耳を傾けると、そこには気候・風土のありさま、土地の人々の生活の姿が刻み込まれています。
(木太町郷土誌より)



『上川の内地区』のいわれ

もともとこの地は、大川に沿ったところに位置しており、東西の川筋の内側にあり、上手にあったため上川の内と名付けられた



高松市のイベントでも
度々披露されています

上川の内地区は、周囲を大小の河川に囲まれた静かで穏やかな地域です。

昭和初期の頃は、20件ほどの農家が点在するのどかな田園地帯で、公民館から北に向かってコトデン木太東口駅までが見通せるほどでした。しかし時代の変化に伴って宅地化が進み、現在では400世帯以上のにぎやかな自治会となりました。長尾街道に沿って、電車やバスの便も良く住みやすいため、新しい家が立ち並び、若い人や子どもが増え、子ども会にもにぎやかです。

そんな地区の特徴を生かして冬にはもちつき大会を開催、大勢の子どもや自治会の人でにぎわっています。また、青年部を中心に獅子舞保存会を作り、秋のお祭りには二頭の獅子が舞う華やかさも見せています。そして定期的に開催される公民館での出前講座は、地域住民のふれあいの場となっています。

これからも、自治会・青年部・子ども会が協力し合って明るく楽しい上川の内地区にしていきたいと思います。
(P.N 上川 古株)

餅つき大会



「上川の内」地区の巻

ご紹介していく地区は秋祭りの大当家を参考にしています。次回は「今村」地区をご紹介します。

木太町の達人

ご近所の
あの人(?)は
実はココが
スゴイんです

紙粘土細工の達人

高須地区 川村 真利子さん



“誰でも楽しくできる”が信条です



自宅は作品でどこもいっぱい



今回ご紹介する達人は、コミュニティセンター講座の講師やあまから通信新年号の表紙も飾っていただいている紙粘土細工の川村真利子さんをご紹介します。

取材に訪れたご自宅兼アトリエにはそこかしこに達人の創った作品が飾ってありましたが、特に目を引いたのがたくさんのお人形。人形に着せる服もご自分で製作されているそうで、達人曰く子どものころから手芸や粘土遊びが大好きで、それが自然と今の形になったとか。

現在も続いているご自身の紙粘土教室は20代の頃にご近所さんが集まってできたもので、今年で36周年。数年ごとにみんなが作品を持ち寄って自宅で展覧会を開いていますが、3日で200人以上の愛好家が訪れるほどの人気ぶりです。

『生涯現役。体が動く限り、続けていきたいね。』

ずっと続けている達人ですが、ものづくりを通じた人との関わりも大切にされる姿勢が素敵でした。(大熊編集)

木太町地名豆知識

地名が語る声に耳を傾けると、そこには気候・風土のありさま、土地の人々の生活の姿が刻み込まれています。
(木太町郷土誌より)



『上川の内地区』のいわれ

もともとこの地は、大川に沿ったところに位置しており、東西の川筋の内側にあり、上手にあったため上川の内と名付けられた



高松市のイベントでも
度々披露されています

上川の内地区は、周囲を大小の河川に囲まれた静かで穏やかな地域です。

昭和初期の頃は、20件ほどの農家が点在するのどかな田園地帯で、公民館から北に向かってコトデン木太東口駅までが見通せるほどでした。しかし時代の変化に伴って宅地化が進み、現在では400世帯以上のにぎやかな自治会となりました。長尾街道に沿って、電車やバスの便も良く住みやすいため、新しい家が立ち並び、若い人や子どもが増え、子ども会にもにぎやかです。

そんな地区の特徴を生かして冬にはもちつき大会を開催、大勢の子どもや自治会の人でにぎわっています。また、青年部を中心に獅子舞保存会を作り、秋のお祭りには二頭の獅子が舞う華やかさも見せています。そして定期的に開催される公民館での出前講座は、地域住民のふれあいの場となっています。

これからも、自治会・青年部・子ども会が協力し合って明るく楽しい上川の内地区にしていきたいと思います。
(P.N 上川 古株)

餅つき大会



「上川の内」地区の巻

ご紹介していく地区は秋祭りの大当家を参考にしています。次回は“今村”地区をご紹介します。

マイ お弁当のススメ

小学生でも作れるミニオン弁当★

〈材料〉

- | | | |
|-----------|--------|---------|
| ●たまねぎ | ●しめじ | ●ゆで卵 |
| ●Mixベジタブル | ●えのきだけ | ●ブロッコリー |
| ●サラダチキン | ●豚薄切肉 | ●プチトマト |
| ●スライスチーズ | ●さつまいも | ●いちご |
| ●のり | ●にんじん | ●みかん |

〈作り方〉

【オムライス】

- ①サラダチキン、玉ねぎは1cmくらいに切り、Mixベジタブルと炒めたら弱火にしてケチャップコンソメを入れて混ぜ合わせる
- ②塩コショウし、バターを入れ混ぜたらご飯を入れる
- ③薄焼き卵をつくりご飯を巻く
- ④チーズとのかきで、ミニオンをつくる

【きのこの肉巻き】

- ①豚肉に塩コショウし、えのき、しめじを巻いていく
- ②巻き終わりが下になるようにして全体を焼き色がつくまで焼く
- ③酒を入れ、蓋をして弱火で蒸し焼きにする
- ④余分な油を拭き、ポン酢と砂糖を混ぜ合わせたものを回し入れ、水分がなくなるまでからめる

【温野菜のサラダ】

- ①さつまいも、人参を1.5cm角くらい、ブロッコリーは小房に分けて茹でる。ゆで卵も作っておく
- ②茹でた野菜等に塩コショウし、マヨネーズで和える



作: ひかり

マイランチ用のお弁当です。前日に野菜のカットやきのこを肉で巻くまで用意しました。朝はサラダの野菜を茹で、きのこの肉巻きは焼くだけ。オムライスはミニオンです。小学校で言われる赤・黄・緑のグループがバランスよく入るように気を付けました。妹や弟の分まで一人(妹も少しお手伝い)で作りました。



お知らせ掲示板

平成30年木太地区各種行事の日程決まる

木太地区冬の献血 ●法寿苑 ●1月21日(日)

今年の献血は、場所を特別養護老人ホーム法寿苑に移しての開催です。寒さの厳しい冬場は血液が不足しがちです。皆さんのあたたかい善意の献血をよろしくお願いします。

河川等一斉清掃 ●木太町全域 ●2月25日(日)

木太地区のみんなで町内をはじめ、周辺の河川・生活用水路の清掃活動を行います。地域ぐるみで「快適で住みよいまちづくり」を目指しましょう!



木太町コミュニティの最新情報はHPでチェック!!



<http://www.kita-town.com/>



タイムラインで木太町の出来事をリアルタイムに!

最新情報
随時更新中!



<https://www.facebook.com/kitacomicen>



明けましておめでとうございます。今年の抱負はもう決まりましたか?今年の私の小さな野望は3年前からチャレンジしている木太地区の冬の献血で、初献血をすることです! いままで献血会場に行っては、数値が足りずに撃沈していましたが、一年間健康づくりにも気を配って今年こそはと息巻いています。木太町には元気な人、ほっこりする話、思わず吹き出すエピソードがたくさんあります。今年も読む人がふと笑顔になり、元気がもらえるような記事づくりをしていきたいと思っていますのでよろしくお願い致します。(杉河米天 亀松)

お便り募集しています!

高松市木太地区コミュニティ協議会

〒760-0080 高松市木太町3480-2 TEL&FAX 087-834-5547

記事に採用された方には

高松市指定収集袋1セット

を差し上げます。

◆お知らせ◆

戸籍届出、各種証明書の発行、市税納付等の各種行政手続きは、木太出張所で取り扱っております。業務の内容など、詳しくは木太出張所まで直接お問い合わせください。

高松市役所木太出張所 TEL.087-834-5485



この冊子は、環境にやさしい水なし印刷を使用しています。

木太地区人口 平成29年12月1日現在

世帯数 14,436戸

